

シリーズ 2、効果を高める学習を目指して 現在の学習方法に教育効果が見られるのか？

ことばの研究社
TEL 086-486-1742
FAX 086-486-1744
kotoba_ken@yahoo.co.jp

- ※ 前号【月報 113 号】では、日本語教師の質を取り上げたが、本号では、学習時間量を取り上げる。弊社の聞き取り調査結果では、異常に学習時間量が多いことが判明した。
- ※ 多くの施設の声は、「最低でも週一回位は学習させないと不安だ」等と考えていることが判明した。しかし、時間量に見合うだけの教育効果はほとんど得られていない。

- ※ 多くの施設は、学習頻度を重要視して、効果を考えていない矛盾点が明かとなった。学習支援金を使っている以上は、教育効果を考えて対応すべきだ。
- ※ 教育は、時間数が多ければ良い教育ができるとは限らない。特に、外国語教育の場合は【自学する能力】が創り出せるか、否かが教育効果を決定する。

I、【覚える(暗記)学習方法は忘れやすい！！】(表 1 参照)

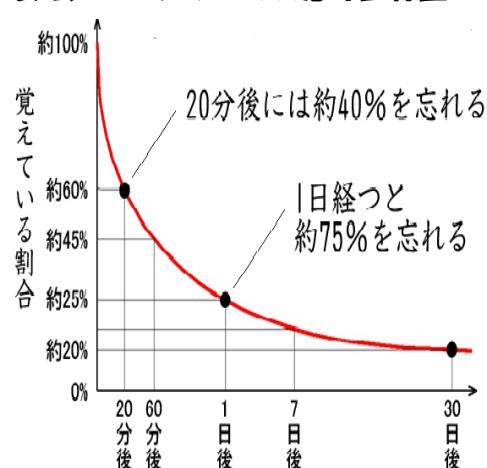
A、【人間は忘れる動物だ！！】

国籍を問わず、「漢字を覚えるのが大変」「専門用語を覚えられない」等といった、否定的な表現をする学習者が非常に多い。エビングハウスの研究によると、人は 1 日後には 74% を忘れると言う。この説では、人は忘れてあたり前と言える。だから、暗記学習だけでは、日本語力が定着しにくいことが分かる。

B、【忘れない学習方法とはどんな方法？】

忘れない学習とは「理解する教育方法」だ。即ち、受け身の学習ではなく、自発的な学習を促す方法だ。それは、【自学能力を養う】教育方法だ。そのことに多くの関係者は気付いていない。例えば、日本語力が不十分な段階で専門用語や知識等が多い教材を使用して、「それはそれとして覚えろ」という強圧的な暗記方法は、教育効果がない。また、日本語がないために対訳をして、覚えさせる教材を使う教育方法も 3 日経てば何も身につけていないことが多い。これらの方法は、学習意欲すら奪ってしまう。

表 1、エビングハウス忘却曲線図



【出典】時空先生のドリルプリント

II、【教材次第で学習意欲が変化！！】(表 2 参照)

A、【覚える教材とは？】

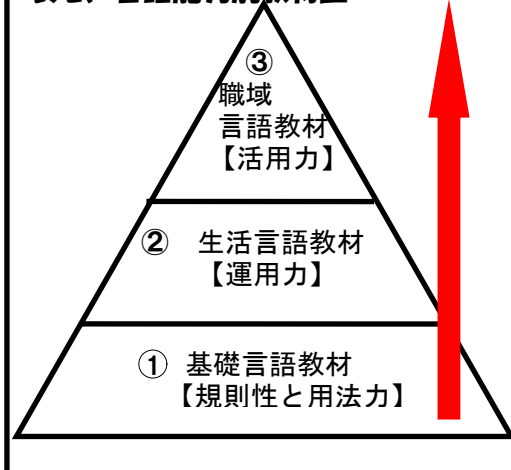
一つ目は、「対訳教材」だ。母語で考えられるために学びやすいが、「覚えたつもり」になっていることが多く、母語と日本語の概念の違いが生じ、正しく対訳できないことに気付かない。

二つ目は、「自己紹介・挨拶・ロロする」等、その場面でしか使えない「場面教材」だ。決まった型を覚えるだけで、異なった場面での対応力や応用力が生まれない。特に、漢字習得に問題が多い。

B、【理解できる教材とは？】

母語を使わずに、日本語を日本語だけで学ぶ教材だ。表2のように段階別に学べ、「易しいものから難しいもの」へ移行する教材だ。①は規則性と用法、②は表現の仕方・運用、③は習得言語の活用を養うことができる教材だ。言語習得過程に沿った教材で学ぶことは、無理なく、楽しく習得できる。そのために、学習意欲が高まり、自学して習得結果を実感でき、忘れることなく言語を使える。

表 2、言語能力別教材図



III、【長時間学習は教育効果が低い！！】(表 3 参照)

A、【週一回、年間 96 時間が最多！！】

表3では、週一回 96 時間が全体の 82% を占めている。96 時間は 12 日間分の労働に相当する。学習時間量が異常に多いことを表しているが、それに反して、例年の国家試験合格率からすると非常に低い。

B、【Eの2か月に1回、12 時間は驚異だ！！】

Eは、ことばの研究社の学習指導だ。自学できるテキストを使い、短時間で実践的な日本語力が身につくために、学習時間が少なくても日本語力が身につくのだ。2 か月間の間には、自学力があるために業務をしながら日本語力を高めることができる。また、合格率は 70% を例年誇っていることは、驚きの学習効果だ。

表 3、教師との学習時間量調査結果

週/月回数	1 年間時間量	%
A、週 2 回	192 時間	12%
B、週 1 回	96 時間	82%
C、月 2 回	48 時間	3%
D、月 1 回	24 時間	2%
E、2 か月 1 回	12 時間	1%

上記は 1 回 2 時間の場合。

※ことばの研究社聞き取り調査結果

驚きの日本語学校・専門学校などの実態！！

※ 最近、弊社に寄せられる声の中で日本語教師が突然いなくなったり、断ったりする声が多くなってきた。その教師たちは、理由も言わず無断で逃走する例もある。そして、これ以上「日本語を教えられない」等と無責任にも、契約途中で言う場合がある。

【途中で放り出す無責任な教師！！】

- EPA 候補者と特定技能実習生を受け入れている。人材不足もあり、今後は特定技能を中心に多く受け入れなければいけないと、考えている。
- 意思疎通ができないと仕事を任せられないため、近所の教師に日本語指導を依頼していたが、二回目の学習時から教師と連絡が取れなくなったので、困惑してことばの研究社にお願いした。あまりにも無責任な教師に怒りを覚えている。
(千葉県・H施設)

【教育を断る無責任な日本語教師！！】

- 一年目は日本語学校の教師が週一回指導していたが、効果が見えなかった。そのために、二年目には別の学校の教師に切り替えた。今度は、一年目の授業回数の倍、週二回で学習をさせていた。しかし、回数を増やしても日本語だけで話すことができず、教育効果に、全然変化が見られなかった。最後に、教師から教えられないと断られた。
- 業務では現場の職員との意思疎通が取れないため、責任ある仕事は任せられず、夜勤にも入れない状態だった。会話はもちろん、介護日誌も書けるレベルではなかった。そこで、ことばの研究社に相談して、今後の指導をお願いした。
(東京都・G施設)

【専門学校の留学生は日本語力がない！！】

- 専門学校で教えていた経験がある。外国人ばかりが集団で学んでいるために、半分以上が寝ている状況だった。寝ている理由は、留学生はアルバイトができる時間が限られているが、限られた時間いっぱい働いて、生活費を稼いでいる人が多い。そのために、学校では疲れて寝てしまうのだ。
- どの程度、授業内容を理解しているのかをテストをするが、教師がいる前で人のものを見ながら解答する学生もいる。このような状態の中、教壇に立つことは、本当に辛く、正直教えることに対する意欲もなくなり、学校で教えることは辞めた。
- 今、介護の専門学校は日本人の学生は集まらない。外国人を多く受け入れて経営しているが、私が頼まれて教えていた専門学校は、こんな状態だった。志のある教師は、正直辞めていく。辞めずに残っている教師は、割り切って教えているのだろう。あまりにも、留学生の日本語力が無さすぎるために、授業内容が理解できないのが、実態だ。
(東京都・A施設)

※ 専門学校で教える講師の声も寄せられている。授業中に居眠りをしたり、雑談をする姿を生しく語った。その原因は、日本語力がなく、授業を理解できないためだ。その結果、意欲をなくし、講師が辞職した例もある。

【ボランティア教師は効果がない！！】

- 半年以上日本にいたが、日本語能力の伸びがなかなか見えない。会話は、単語を並べることはできるが、助詞が上手く使えないために、正しい文で答えることができず、意思疎通ができないことが、一番の問題点だと思っている。
- 週一回、ボランティア教室に通学しているが、教育効果がない。担当者も毎週、学習を見ているが、上達が難しい。仕事上で答えられないため、指示した事柄等を毎回確認しなければいけない。本人たちに指示したことを復唱させて、作業をさせているのが実態だ。
(大阪府・A施設)

【日本語力がなくて、研修が受けられるのか？】

- 日本人と外国人に、介護の専門知識を指導している。日本人と外国人と一緒に指導することは、とても難しい。なぜなら、日本人のレベルに合わせて授業をすると、外国人は日本語力がないから、理解ができない。逆に、外国人に合わせて指導をすれば、日本人は学習意欲を失ってしまう。クラスを別にすれば良いのだが、主催者の都合で分けられない。だから、外国人に対しては、補講をしないといけなくなり、二重手間になり、講師の負担も増えるのが実態だ。
- 外国人は母国でも、来日してからでも、日本語の学習はしているはずだ。だが、私が教えていて思うことは、日本語の基礎的なレベルもない人が余りにも多いことだ。これでは、専門知識を理解できないのは、当たり前だ。私は日本語教師ではないのに、日本語を指導することになる。
- 正直、もっと受け入れ側が日本語力の質・レベルを高めてほしい。日本語力がなければ、専門用語や知識は絶対に理解できないことを本気で分かってほしいと思う。私は日本語の基礎こそ重要だと考えている。
(千葉県・S施設)

【大きな勘違いに要注意！！】

- ※ 日本人は肩書や名称に弱く、中身を見ずに信用する国民性が強いのが特性だ。特に、学校と名がつくのに弱い。例えば、●●大学の留学生別科とか、日本語学校とか、●●専門学校に入学させれば安心という無責任な考えを持つ法人が多い。
- ※ 日本語教育の視点からみると、大都市にある施設等は、この傾向が特に強い。だが、国家試験合格率からみれば、大都市は決して高くはないのだ。日本語教育は「教育者の質」をみて選択すべきだ。

施設の声

管理組合の教育に不信感がある！！

- EPA を受け入れていたが、定着しなかったの
で、次は、留学生を受け入れる予定だ。
しかし、おかしな事に、現在は法人内で外国
人受け入れの管理組合を作り派遣している。
当施設は、その管理組合がどういった教育を
しているのかは、施設側は全く把握できてい
ない状況だ。そして、どのような日本語教
育をしているのかも分からない。
- 不便な所に施設があるため、日本人はもちろ
ん募集しても来ないし、外国人を受け入れて
も、短期間で他県に異動してしまう。手間
暇かけて育てても定着が厳しいのが現状だ。
- 現場の職員の中には、時間をかけて育てるぐ
らいであれば、外国人は入れなくて良いとい
う声も上がっている。しかし、人手不足
は解消できないので、受け入れていくしか
ない。また、利用者も年々減少していくの
で、運営が先細りするのには目に見えている。
(和歌山県・H施設)

N3レベルは日本語力がない！！

- EPA も特定・技能実習生も受け入れていない。
その代わり、専門学校を卒業した人4名が職
員として働いている。4名のうち2名は何
とか現場で利用者の対応をそれなりにこなせ
てはいる。しかし、残りの2名は日本語力
がないために、利用者対応を任せられない。
- その2名は、会話がたどたどしいために、現
場職員の指示をどこまで本当に理解している
のかが、把握できない。そのため、一時も
目を離せずに、対応しなくてはいけないので、
心配で不安だ。
- 最低でも意思疎通ができる日本語を取得して
から仕事に就かせたい。しかし、自己申告
のN3レベルというだけで、実際の日本語能
力が分からない。だから、仕事をさせる上
で非常に困っている。介護日誌を書いてほ
しいが、到底、書く力はないのが実状だ。
(茨城県・A施設)

経営者は現場の真剣な声を聞かない！！

- 外国人の日本語力を早く高めて、即戦力にしたい
と思っている。だが、教育は法人本部の方
針が変わらない限り、教師を変えたり、契約先
を切り替えることは難しいのが現状だ。
経営者の考え方をええさせることは、職員には
できないので、もどかしいことが多々ある。
- 現場が声をあげても、一向に経営者は聞こうと
しない。毎日の仕事の中で大変な思いをする
のは、現場なのに。(愛媛県・H施設)

自称日本語教師が大切な人材を潰す！！

- EPA を受け入て、学習環境も整え、専属の日
本語教師が指導を続けていた。しかし、日
本語力が思った以上に伸びず、意思伝達もで
きないために、職員は現場対応で相当の労力
を費やした
その原因は、日本語教師の指導力にあると思
っている。せっかくの人材をつぶしてしま
う教育は許せない。
- その結果が、途中で全員帰国してしまった。
定着すると期待が大きかったために、国家試
験も受けずに帰ってしまったことに、大きな
ショックを受けた。
- そのような事があり、EPA 受け入れは考えら
れなくなってしまった。東京にある施設で
も有能な人材確保は本当に厳しい。現在は、
EPA に関わらず、特定・技能実習生の外国人
人材も受け入れは考えられない状況だ。
(東京都・S施設)

EPA を辞めて留学生に切り替える！！

- 数十名の EPA を受け入れ継続していたが、こ
の頃は EPA を採用したくてもできない。
理由は、地方にある施設は給料が安く選ん
でもらえないからだ。以前に受け入れていた
EPA は合格していたが、全員、給料の良い都
会に転職してしまった。
- 今は、技能実習生を三人受け入れているだけ。
コロナもおさまって現地に行き、直接面接を
すれば、人材も確保できるのかもしれない。
しかし、経費を考えるとそれもできない。
- 今後は、専門学校に通っている留学生を受け
入れていくことを考えている。留学生と言
っても、日本語は表面上できそうに見えるが、
できないのは同じだと思う。
(茨城県・S施設)

EPA と実習生の日本語力に差がある！！

- EPA と技能実習生を受け入れている。
EPA は合格して職員として働き、定着してい
るので、とても助かっている。しかし、技
能実習生を受け入れているが、EPA に比べ
ると日本語力が低いのが実態だ。
- 継続的に EPA を受け入れてきているので、現
場の職員からは、「EPAの方が日本語がしっ
かりしているし、意思疎通ができる」と言わ
れる。しかし、技能実習生は業務の仕方を見
ていても、日本語が十分に通じず、お互い
苦労している面が多々、見受けられる。
- 法人で教育センターを設けて、近隣の施設か
ら技能実習生や EPA の人を研修している。
外部の日本語教師に指導を頼んで進めてい
る。ことばの研究社の【月報】を毎月読んで
参考にしてている。(千葉県・I施設)